

受験番号	学部	番
------	----	---

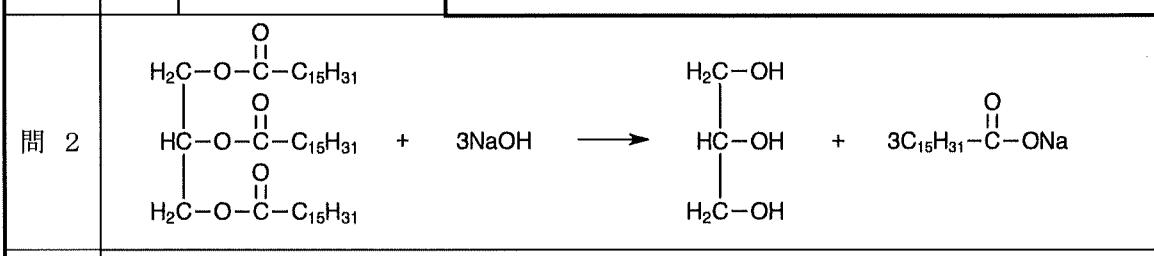
B-1

## 化 学 解 答 用 紙

評点	
----	--

1 [ I ]

問 1	ア	ヒドロキシ	イ	エステル	ウ	極性
	エ	セッケン	オ	疎水(親油)	カ	親水
	キ	ミセル				



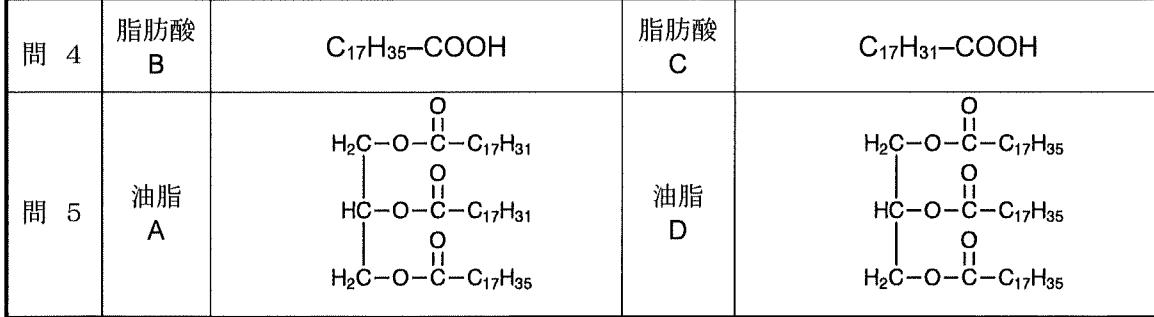
問 3 (b)

[ II ]

問 1 計算 :  
 $4.60 \text{ (g)} \div 92.0 \text{ (g/mol)} = 5.00 \times 10^{-2} \text{ (mol)}$   
 答  $5.00 \times 10^{-2}$  mol

問 2 計算 :  
 1 mol の油脂から 1 mol のグリセリン (92.0 g) が得られる。加水分解により得られる  
 グリセリンの物質量は、 $0.0500 \text{ mol}$  であるから、 $44.1(\text{g}) \div 0.0500 \text{ (mol)} = 882 \text{ (g/mol)}$   
 答 882

問 3 計算 :  
 油脂 A に含まれる二重結合の数を  $x$  個とすると、油脂 1 molあたり  $x$  mol の水素分子が  
 反応する。標準状態での水素 1 mol あたり 22.4 L を利用すると、  
 $(2.24 \text{ (L)} \div 22.4 \text{ (L/mol)}) \div (22.0(\text{g}) \div 882 \text{ (g/mol)}) = 4.01$   
 答 4



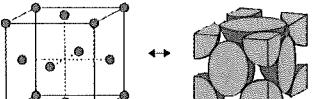
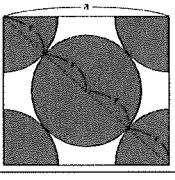
小計	
----	--

受験番号	学部	番
------	----	---

B-2

## 化 学 解 答 用 紙

2

問 1	12	
問 2	 	面心立方格子において、中心に原子が存在する面では対角線の長さが半径4つ分に相当する。 したがって、 $\sqrt{2} \times a = 4 \times r$ となるので、 $r = \frac{\sqrt{2}}{4} a$
問 3	まず、単位格子の体積を $V$ とすると、 $V = a^3$ である。 単位格子中に Ni 原子は 4 個入っている。Ni 原子 1 つ分の体積は $\frac{4}{3}\pi r^3$ なので、単位格子中で Ni 原子が占める体積 $V_{\text{Ni}}$ は、 $V_{\text{Ni}} = 4 \times \frac{4}{3}\pi r^3 = \frac{16}{3}\pi \left(\frac{\sqrt{2}}{4}a\right)^3 = \frac{\sqrt{2}\pi a^3}{6}$ となる。 したがって、充填率は $\frac{V_{\text{Ni}}}{V} = \frac{\frac{\sqrt{2}\pi a^3}{6}}{a^3} = \frac{\sqrt{2}\pi}{6} = 1.4 \times 3.1 \div 6 = 0.72333 \approx 0.72$ 答 0.72	
問 4	単位格子中に Ni 原子は 4 個入っているので、単位格子あたりの重さは $\frac{4M}{N_A}$ となる。 したがって、単位格子の体積 $V = \frac{4M}{N_A d}$ $\frac{4M}{N_A d}$	
問 5	(1)	水素吸蔵前の LaNi <sub>5</sub> 1 kg の体積は、 $1000/8.3 \text{ cm}^3$ であるので、水素吸蔵後の体積は、 $1.3 \times \frac{1000}{8.3} = 156.6 \approx 1.6 \times 10^2 \text{ (cm}^3\text{)}$ 答 $1.6 \times 10^2 \text{ cm}^3$
	(2)	水素ガス 14 g は $14/2 = 7.0 \text{ mol}$ であり、標準状態では $22.4 \times 7.0 = 156.8 \text{ (L)} = 156.8 \times 10^3 \text{ (cm}^3\text{)}$ となる。水素の保管に必要な体積は、 $\frac{157}{1.57 \times 10^5} = 1.00 \times 10^{-3}$ 倍 答 $1.0 \times 10^{-3}$ 倍
問 6	いずれもル・シャトリエの原理から、 $Q > 0$ より水素吸蔵は発熱反応なので、反応を進めるためには温度を下げればよい。また、系の圧力を上げれば、系の圧力を下げる方向、すなわち水素吸蔵反応は進むことになる。	

小	
計	

受験番号	学部	番
------	----	---

B—3

## 化 学 解 答 用 紙

3

問 1	①	$\text{HCOOH} + \text{NaHCO}_3 \rightarrow \text{HCOONa} + \text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O}$													
	②	$2 \text{MnO}_4^- + 6 \text{H}^+ + 5 \text{HCOOH} \rightarrow 2 \text{Mn}^{2+} + 5 \text{CO}_2 + 8 \text{H}_2\text{O}$													
問 2	ア	アルデヒド (ホルミル)	イ	赤紫	ウ	冰酢酸									
問 3	$[\text{H}^+] = K_a [\text{CH}_3\text{COOH}] / [\text{CH}_3\text{COO}^-]$														
問 4	<p>計算：</p> <p>式(2)で <math>[\text{CH}_3\text{COO}^-] = [\text{H}^+]</math> とできるので、問3の式より、  <math>[\text{H}^+]^2 = K_a [\text{CH}_3\text{COOH}] = 2.7 \times 10^{-5} \times 3.0 \times 10^{-2} = 81 \times 10^{-8} (\text{mol/L})^2</math>  <math>[\text{H}^+] = 9.0 \times 10^{-4} \text{ mol/L}</math> より <math>\text{pH} = 4 - \log_{10} 3.0^2 = 4 - 2 \times 0.48 = 3.04</math></p> <p>(別解) 濃度 <math>C</math>, 電離度 <math>\alpha</math> とすると <math>[\text{CH}_3\text{COOH}] = C(1-\alpha) \approx C</math>, <math>[\text{CH}_3\text{COO}^-] = [\text{H}^+] = C\alpha</math>,  <math>\alpha = (K_a / C)^{1/2} \rightarrow [\text{H}^+] = (C \cdot K_a)^{1/2} = 9.0 \times 10^{-4} \text{ mol/L} \rightarrow \text{pH} = 3.04</math></p>														
	答 3.04														
問 5	エ	0.12	オ	0.040											
問 6	<p>計算：</p> <p><math>[\text{H}^+] = K_a [\text{CH}_3\text{COOH}] / [\text{CH}_3\text{COO}^-] = 2.7 \times 10^{-5} \times 0.12 / 0.040 = 81 \times 10^{-6} \text{ mol/L}</math>  <math>\text{pH} = 6 - \log_{10} 3.0^4 = 6 - 4 \times 0.48 = 4.08</math></p>														
	答 4.08														
問 7	<p>計算：</p> <p><math>\text{CH}_3\text{COOH} + \text{NaOH} \rightarrow \text{CH}_3\text{COONa} + \text{H}_2\text{O}</math> より、</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>0.020 mol/L</td> <td>0.010 mol/L</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>0.010 mol/L</td> <td>0</td> <td>0.010 mol/L</td> </tr> </table> <p><math>[\text{H}^+] = K_a [\text{CH}_3\text{COOH}] / [\text{CH}_3\text{COO}^-] = 2.7 \times 10^{-5} \times 0.010 / 0.010 = 27 \times 10^{-6} \text{ mol/L}</math>  <math>\text{pH} = 6 - \log_{10} 3.0^3 = 6 - 3 \times 0.48 = 4.56</math></p>						0.020 mol/L	0.010 mol/L	0	↓	↓	↓	0.010 mol/L	0	0.010 mol/L
0.020 mol/L	0.010 mol/L	0													
↓	↓	↓													
0.010 mol/L	0	0.010 mol/L													
	答 4.56														

小	
計	

受験番号	学部	番
------	----	---

B-4

## 化 学 解 答 用 紙

4

〔 I 〕

問 1	(1)	92 g	(2)	29 %	問 2	40 °C
	(1)			再結晶		
問 3	(2)			塩化ナトリウムでは温度による溶解度の変化が小さく、水溶液を冷却したときに析出する量が少ないから。		
問 4	計算：					
	硫酸銅(II)(無水物)の質量は $10.0 \text{ g} \times (160/250) = 6.4 \text{ g}$					
	20°Cにおける溶解度は 20 g/100 g 水より、					
	飽和溶液に含まれる水の質量は $100 \text{ g} \times (6.4 \text{ g}/20 \text{ g}) = 32 \text{ g}$					
					答 32 g	
問 5	ア	青白	イ		黒	
問 6	③			Cu <sup>2+</sup> + 2OH <sup>-</sup> → Cu(OH) <sub>2</sub>		
	④			Cu(OH) <sub>2</sub> → CuO + H <sub>2</sub> O		

〔 II 〕

	(1)	0.077 mol
問 1	(2)	計算： 気体として存在する二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> = 44.0) の物質量は $(4.40/44.0) \text{ mol} - 0.0768 \text{ mol} = 0.0232 \text{ mol}$ 求める体積を V [L] とすると $3.0 \times 10^5 \text{ Pa} \times V = 0.0232 \text{ mol} \times 8.3 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L} / (\text{mol} \cdot \text{K}) \times 300 \text{ K}$ より $V = 0.19 \text{ L}$
		答 0.19 L
問 2	変化	大きくなる
	理由	二酸化炭素の分圧が下がり、水に溶ける量が減少するから。

小	
計	